

平成 26 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会

平成 26 年 11 月 28 日（金） 15 : 00 ～ 17 : 00
エスポワールいわて（盛岡市中央通一丁目 1-38）
1 階イベントホール

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（佐々木企業局長）
- 3 議 事
 - (1) 委員長の選出について
 - (2) 中期経営計画に係る平成 26 年度上半期の取組状況について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

配付資料

- 資料 1 平成 26 年度 経営評価総括表（上半期）（案）
資料 2 平成 26 年度 経営方針別管理・評価集計表（上半期）（案）
資料 3 平成 26 年度 行動計画 管理・評価シート（上半期）（案）
参考資料 1 岩手県企業局経営評価委員会設置要領

平成 26 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

平成 26 年 11 月 28 日 (金) 15:00 ~ 17:00

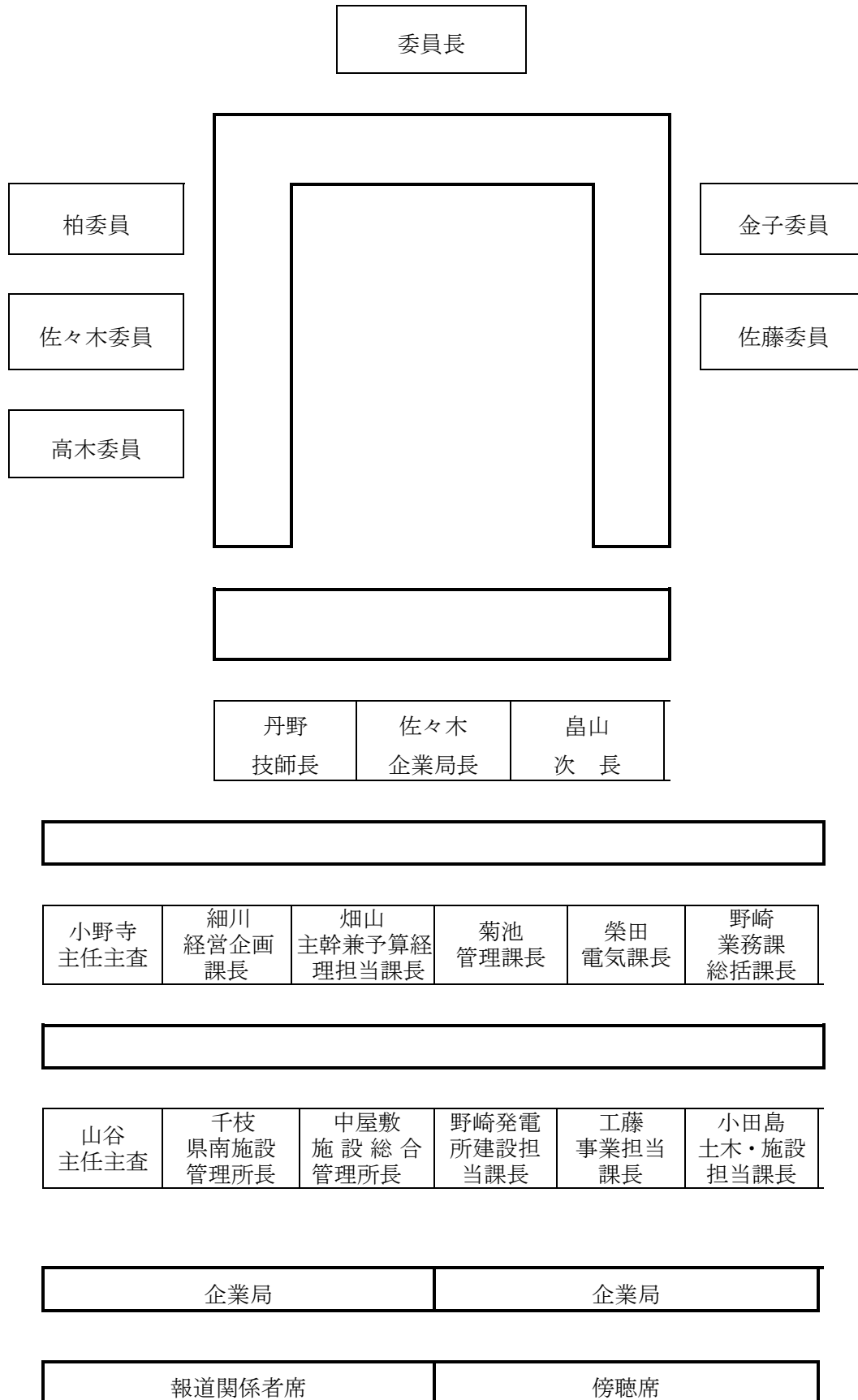
エスポワールいわて (盛岡市中央通一丁目 1-38) 1 階イベントホール

委員	東北公営企業株式会社 代表取締役社長	かしかわ まきこ 柏 真喜子	
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子	新任
〃	佐々木経営システム研究所 中小企業診断士	ささき みつぐ 佐々木 貢	
〃	株式会社浜銀総合研究所 地域経営研究室 室長	さとう ゆうや 佐藤 裕弥	
〃	岩手大学工学部教授	たかき こういち 高木 浩一	
企業局	局長	ささき ゆきひろ 佐々木 幸弘	
〃	次長兼経営総務室長	はたけやま ちよし 畠山 智禎	
〃	技師長	たんの きつや 丹野 幸矢	
〃	業務課総括課長	のさき あきひろ 野崎 明裕	
〃	施設総合管理所長	なかやしき とおる 中屋敷 暢	
〃	県南施設管理所長	ちえだ たいこう 千枝 泰航	
〃	経営総務室 管理課長	きくち みつる 菊池 満	
〃	経営総務室 主幹兼予算経理担当課長	はたやま てつお 畑山 哲夫	
〃	業務課 事業担当課長	くどう かずや 工藤 一也	
〃	業務課 電気課長	さかえだ いわお 榮田 巖	
〃	業務課 土木・施設担当課長	おだしま こういち 小田島 公一	
〃	業務課 発電所建設担当課長	のさき ゆたか 野崎 裕	
事務局	経営総務室 経営企画課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おの でら しげお 小野寺 重男	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	ささき ゆういち 佐々木 裕一	

(委員 五十音順 敬称略)

出席者数 21 名

平成 26 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表



(平成 26 年度第 2 回) 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

平成 26 年 11 月 28 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 00

エスポワールいわて (盛岡市中央通一丁目 1-38) 1 階イベントホール

内 容	予定時間	備考
1 開会	15 : 00	
2 あいさつ	15 : 00 ~ 15 : 10	
3 議事 (1) 委員長の選出について	15 : 10 ~ 15 : 15	参考資料 1
(2) 中期経営委計画に係る平成 26 年度上半期の取組状況について	15 : 15 ~ 16 : 30	資料 1 資料 2 資料 3
(3) その他	16 : 30 ~ 16 : 35	
4 その他	16 : 35 ~ 17 : 00	
5 閉会	17 : 00	

I 電気事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）																				
信頼性の確保	<< 経営目標 >> ◆ 供給電力量 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>499,099 MWh</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table> （上半期まで） <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>317,375MWh</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>386,567MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>122%</td> </tr> </table> << 行動計画 >> ◇ 安定供給に向けた取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	目標	499,099 MWh	実績	MWh	達成率	%	目標	317,375MWh	実績	386,567MWh	達成率	122%	評価		【分析・評価】 ○ 上半期は出水率が約 105%と好調であったため、供給電力量は 386,567MWh となり、達成率は 122%となった。 ○ 供給支障は、第 1 四半期に設備不良に起因して 2 件発生（岩洞第一及び仙人発電所）し、停止時間約 2 時間、停電電力量が約 30MWh となった。岩洞第一発電所については、大規模改修工事に合わせて機器更新を行うことにより、根本的な対策を講じることとしている。 ○ 更新・改良・修繕工事については、ほぼ計画どおり進行している。施設総合管理所の集中監視制御システム更新工事については、8 月からシステムの実運用を開始した。						
	目標	499,099 MWh																				
実績	MWh																					
達成率	%																					
目標	317,375MWh																					
実績	386,567MWh																					
達成率	122%																					
評価																						
参考指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">水力発電所の供給停止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td>実績 （第 2 四半期まで）</td> </tr> <tr> <td>件数（件）</td> <td>3.7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>時間（時間）</td> <td>106</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>電力量（MWh）</td> <td>140</td> <td>30</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">風力発電所の利用可能率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>88 %</td> </tr> <tr> <td>実績（第 2 四半期まで）</td> <td>94 %</td> </tr> </table>	水力発電所の供給停止				目標	実績 （第 2 四半期まで）	件数（件）	3.7	2	時間（時間）	106	2	電力量（MWh）	140	30	風力発電所の利用可能率		目標	88 %	実績（第 2 四半期まで）	94 %
水力発電所の供給停止																						
	目標	実績 （第 2 四半期まで）																				
件数（件）	3.7	2																				
時間（時間）	106	2																				
電力量（MWh）	140	30																				
風力発電所の利用可能率																						
目標	88 %																					
実績（第 2 四半期まで）	94 %																					
経済性の確保	<< 経営目標 >> ◆ 経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> << 行動計画 >> ◇ 収入の確保 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table> ◇ 支出の適正化 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	目標	107 %	実績	%	達成度		評価		評価		【分析・評価】 ○ 上半期までの供給電力量が目標を上回ったため、電力料収入は約 2,403 百万円となり、目標の約 103%となった。 ○ 胆沢第三発電所については、東北電力株式会社と、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に係る特定契約（1 kWh あたり 22 円（消費税及び地方消費税抜き）で売電）を締結した。 ○ 相去太陽光発電所については、発電電力の売電に係る一般競争入札を 8 月に実施し、9 月に 1 kWh あたり 38.8 円（消費税及び地方消費税抜き）で売電する特定契約を締結した。 ○ 支出については、効率的な執行に努めている。 ○ 電力システム改革に係るワーキンググループを設置し、情報収集及び対応の方向性に関する検討を実施している。										
	目標	107 %																				
実績	%																					
達成度																						
評価																						
評価																						
参考：収入・支出の実績(百万円)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>収入額</td> <td>支出額</td> <td>経常利益</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>4,459</td> <td>4,182</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		収入額	支出額	経常利益	計画	4,459	4,182	277	実績												
	収入額	支出額	経常利益																			
計画	4,459	4,182	277																			
実績																						
新規開発の推進	<< 経営目標 >> ◆ 胆沢第三発電所建設の推進 平成 26 年 7 月運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td>達成</td> </tr> </table> ◆ 水力開発候補地点の選定・可能性調査 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> ◆ 高森高原風力発電所(仮称)建設の推進 平成 29 年運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> ◆ 北上大規模太陽光発電所(仮称)の建設 平成 26 年 11 月運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> << 行動計画 >> ◇ 新規水力開発への取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table> ◇ 再生可能エネルギー導入への取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	達成度	達成	達成度		達成度		達成度		評価		評価		【分析・評価】 ○ 胆沢第三発電所（出力 1,500kW）の営業運転を 7 月 1 日に開始した。 ○ 水力開発地点の調査については、流量観測を県内 4 地点の河川で実施中である。また、築川地点については、委託による発電所の基本設計業務を実施し、計画どおり取組を進めている。 ○ 高森高原風力発電所（仮称）の開発については、昨年度に引き続き環境影響調査及び風況観測調査を実施している。また、風力発電システム設計及び送電線実施設計を開始し、順調に取組を進めている。 ○ 北上大規模太陽光発電所（仮称）については、正式名称を「相去太陽光発電所」と決定し、現地工事を順調に施工した。（11 月 1 日に営業運転を開始。）								
	達成度	達成																				
達成度																						
達成度																						
達成度																						
評価																						
評価																						

II 工業用水道事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）																													
信頼性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆基本料金算定水量(契約水量)</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>14,012 千 m³</td></tr> <tr><td>実績</td><td>千 m³</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> <p>(上半期まで)</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>7,033 千 m³</td></tr> <tr><td>実績</td><td>7,033 千 m³</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100 %</td></tr> </table> <p>◆配管耐震化率</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>51%</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> </table> <p>《行動計画》</p> <p>◇安定供給に向けた取組み</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	目標	14,012 千 m ³	実績	千 m ³	達成率	%	目標	7,033 千 m ³	実績	7,033 千 m ³	達成率	100 %	目標	51%	実績	%	評価		<p>【分析・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上半期は、事故による供給停止は発生せず、安定供給を継続している。また、実給水量については、目標を約 190 千 m³ 上回る好調な結果となった。 ○ 改良・修繕工事については、おおむね順調に実施している。 ○ 配管更新（耐震化）については、第二工水送水管更新の詳細設計が、道路横断の検討及び設計等に時間を要し、予定より遅れが生じているが、年度内の設計完了に向け、取組みを進めている。 ○ 修繕・改良工事に係る 10 カ年計画を 9 月に策定した。 											
	目標	14,012 千 m ³																													
実績	千 m ³																														
達成率	%																														
目標	7,033 千 m ³																														
実績	7,033 千 m ³																														
達成率	100 %																														
目標	51%																														
実績	%																														
評価																															
参考指標	<table border="1"> <tr><td colspan="3">供給停止件数及び時間（第 2 四半期まで）</td></tr> <tr><td></td><td>目標</td><td>実績</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>(第 2 四半期まで)</td></tr> <tr><td>件数 (件)</td><td>0</td><td>3*</td></tr> <tr><td>時間 (時間)</td><td>0</td><td>15*</td></tr> </table> <p>※ 定期点検作業による供給停止</p>	供給停止件数及び時間（第 2 四半期まで）				目標	実績			(第 2 四半期まで)	件数 (件)	0	3*	時間 (時間)	0	15*															
供給停止件数及び時間（第 2 四半期まで）																															
	目標	実績																													
		(第 2 四半期まで)																													
件数 (件)	0	3*																													
時間 (時間)	0	15*																													
経済性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆経常収支比率</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>101 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> <p>◆累積欠損金</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>37 百万円以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>百万円</td></tr> </table> <p>《行動計画》</p> <p>◇収入の確保</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> <p>◇支出の適正化</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> <p>◇自立経営への取組み</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	目標	101 %	実績	%	達成率	%	目標	37 百万円以下	実績	百万円	評価		評価		評価		<p>【分析・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 収入は、実給水量が目標を上回ったことにより、約 9,000 千円計画を上回り良好な結果となった。 ○ 支出については、水位計更新工事について 2 件の工事を 1 件に合冊して発注し工事費の縮減を図るなど、効率的な執行に努めている。 <p>参考：収入・支出の実績(百万円)</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>収入額</td><td>支出額</td><td>経常利益</td></tr> <tr><td>計画</td><td>890</td><td>878</td><td>12</td></tr> <tr><td>実績</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			収入額	支出額	経常利益	計画	890	878	12	実績			
	目標	101 %																													
実績	%																														
達成率	%																														
目標	37 百万円以下																														
実績	百万円																														
評価																															
評価																															
評価																															
	収入額	支出額	経常利益																												
計画	890	878	12																												
実績																															

III 地域貢献

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）																			
地域貢献の推進	<p>《経営目標》</p> <p>◆支援対象者等による評価</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>80 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table> <p>◆温室効果ガス排出量の削減</p> <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>2,259t 以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table> <p>《行動計画》</p> <p>◇クリーンエネルギー導入促進等</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> <p>◇環境保全活動等への取組み</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> <p>◇情報公開・PR</p> <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	目標	80 %	実績	%	達成度		目標	2,259t 以下	実績		達成度		評価		評価		評価		<p>【分析・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クリーンエネルギー導入支援事業について、4 月 14 日から 6 月 13 日まで公募を行い、1 件応募があった。審査の結果、交付を決定した（洋野町）。また、2 次公募を 7 月 28 日から実施している。 ○ 情報公開・PR については、施設見学会を 7 月 28 日に実施し、155 名の参加があった。（平成 25 年度 130 名参加）。今年度は新たに運転を開始した胆沢第三発電所を組み込んだ胆沢コースを新設したこともあり、昨年度を上回る応募・参加があった。また、学生や一般の見学者を企業局各施設で 1,450 名を受け入れ（昨年同期 1,178 名）、今後も積極的に見学者を受け入れていくこととする。 ○ 企業局イメージキャラクターである「みずりん・みどりん」を活用した『「みずりん・みどりん」おしらせ隊』を企業局職員により結成し、各種イベント（復興応援！盛岡駅前ご当地キャラまつり、もりおかさんさ踊り、いわて花巻空港スカイフェスタ 2014 等）に参画するなど、普及啓発活動や地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 植樹活動支援事業については、14 地区に苗木の提供予定及び 9 地区に職員が参加する予定である。 ○ 温室効果ガス排出量の削減については、工業用水の需要増により設備の稼働が上がったため、昨年の上半期の排出量を上回る実績となった。 ○ 今後の地域貢献のあり方について検討を開始した。 	
	目標	80 %																			
実績	%																				
達成度																					
目標	2,259t 以下																				
実績																					
達成度																					
評価																					
評価																					
評価																					

平成 26 年度 電気事業 信頼性の確保 管理・評価集計表 (上半期) (1/7) (案)

経営方針	経営目標	取組分野																												
I 電気事業 1 信頼性の確保 施設の適切な維持管理のもと、水力発電を中心としたクリーンな電力の安定供給に努める。	供給電力量 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>499,099 MWh</td></tr> <tr><td>実績</td><td>MWh</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> 供給電力量 (第 2 四半期まで) <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>317,375 MWh</td></tr> <tr><td>実績</td><td>386,567 MWh</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>122 %</td></tr> </table>	目標	499,099 MWh	実績	MWh	達成率	%	目標	317,375 MWh	実績	386,567 MWh	達成率	122 %	(1) 安定供給に向けた取組 【参考指標】 供給支障件数 <table border="1"> <tr><td>H22～24 の 3 ヶ年平均</td><td>3.7 件/年</td></tr> <tr><td>実績 (上半期まで)</td><td>2 件</td></tr> </table> 【参考指標】 停電時間 <table border="1"> <tr><td>H22～24 の 3 ヶ年平均</td><td>106 時間/年</td></tr> <tr><td>実績 (上半期まで)</td><td>2 時間</td></tr> </table> 【参考指標】 停電電力量 <table border="1"> <tr><td>H22～24 の 3 ヶ年平均</td><td>140MWh/年</td></tr> <tr><td>実績 (上半期まで)</td><td>30.3MWh</td></tr> </table> 【参考指標】 風力発電所の利用可能率 <table border="1"> <tr><td>H22～24 の 3 ヶ年平均</td><td>88%</td></tr> <tr><td>実績 (上半期まで)</td><td>%</td></tr> </table>	H22～24 の 3 ヶ年平均	3.7 件/年	実績 (上半期まで)	2 件	H22～24 の 3 ヶ年平均	106 時間/年	実績 (上半期まで)	2 時間	H22～24 の 3 ヶ年平均	140MWh/年	実績 (上半期まで)	30.3MWh	H22～24 の 3 ヶ年平均	88%	実績 (上半期まで)	%
目標	499,099 MWh																													
実績	MWh																													
達成率	%																													
目標	317,375 MWh																													
実績	386,567 MWh																													
達成率	122 %																													
H22～24 の 3 ヶ年平均	3.7 件/年																													
実績 (上半期まで)	2 件																													
H22～24 の 3 ヶ年平均	106 時間/年																													
実績 (上半期まで)	2 時間																													
H22～24 の 3 ヶ年平均	140MWh/年																													
実績 (上半期まで)	30.3MWh																													
H22～24 の 3 ヶ年平均	88%																													
実績 (上半期まで)	%																													

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価	
(1) 安定供給に向けた取組み	①安全で適切な作業等の実施	失敗事例、事故事例の情報収集・共有化 (随時)	1 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施 (OJT (職場内教育) の充実等) ⇒ 新採用職員及び定期人事異動により企業局に初めて勤務する職員を対象とした新任職員研修を実施 (4/23, 25、5/8, 9) また、既在籍職員については、専門研修実施計画に基づき、研修等を実施。 2 作業の準備、反省及び改善等 ⇒ 各種直営作業実施時に TBM/KY を実施。 3 事故事例等の共有・活用 ⇒ 電気事業失敗事例集の内容再確認・意見交換 (7/29 県南電気担当課)		初めて勤務する
	②計画的な更新、改良、修繕工事等の実施	工程管理	1 年間工事打合せ ① 仙人発電所 入口弁及び調速機等更新 (H25～26) ⇒ 現地工事中 ② 四十四田発電所 オバール他改良、主要変圧器更新、(オバール H25～H26、主変 H25～H26) ⇒ 現地工事中 ③ 御所発電所 配電盤更新等・オバール (H24～26) ⇒ 工場製作及び現地工事中 ④ 柏台発電所 水車発電機分解点検補修等 (H26～27) ⇒ 設計中 (12 月契約予定) ⑤ 施設総合管理所 集中監視制御システム更新 (H24～26) ⇒ 現地工事中		
		修繕・改良計画の策定及び検証	2 10 ヶ年計画の見直し ⇒ 各所属へ計画の見直し依頼 (4/21)、計画の見直しヒアリング実施 (8/20～21, 25)、計画決定通知 (※10 月予定)		
		共同事業者との連携	3 国営事業 (岩手山麓) との連携事業推進 ⇒ 基本協定に係る打合せ実施 (9/18)		
		土木施設の長寿命化	4 施設台帳・データベース整備 ⇒ H26 検討計画を決定 (5/16)、設置要綱の改定 (5/30)、WG 会議開催 (7/17)、東北電力発電所視察実施 (9/11) 維持管理計画の見直し等		
③保守要則の見直し	保守要則	新規発電所運転開始等に伴う追加検討及び改正 ⇒ 胆沢第三発電所の運転開始にあわせた改正 (6/30)。相去太陽光発電所運転開始に伴う保守要則検討中。			
	保安規程	新規発電所運転開始等に伴う改正 ⇒ 神奈川県企業庁太陽光発電所に関する事例調査実施 (5/23)。運転開始に伴う保安規程の改正検討中。			

【備考】

■ 四半期毎の状況

供給電力量 (MWh)

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
目標	197,674	119,701	78,638	103,086	499,099
実績	243,853	142,714			386,567

供給支障状況

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
供給支障件数	2	0			2
停電時間 (h)	2	0			2
停電電力量 (MWh)	30.3	0			30.3

供給支障件数の過去平均と原因別比較

区分	H22～24 平均	H25	H26	H27
人的ミス等	0.3	1	0	
設備不良等	2.0	2	2	
自然現象等	1.3	0	0	

供給支障発生日	施設名	事故名称	原因分類
4/7	岩洞第一	冷却水断水	設備不良
5/31	仙人	ダンパー故障	設備不良

平成 26 年度 電気事業 経済性の確保 管理・評価集計表（上半期）（2/7）（案）

経営方針	経営目標	取組分野													
I 電気事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、安定経営の維持を図る。	経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績見込</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標	107 %	実績見込	%	達成度		(1) 収入の確保 【参考指標】 収入額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>4,459 百万円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table>		計画	4,459 百万円	実績	万円	達成率	%
		目標	107 %												
実績見込	%														
達成度															
計画	4,459 百万円														
実績	万円														
達成率	%														
		(2) 支出の適正化 【参考指標】 支出額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>4,182 百万円以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table>		計画	4,182 百万円以下	実績	万円	達成率	%						
計画	4,182 百万円以下														
実績	万円														
達成率	%														

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価	
(1) 収入の確保	④適正料金の確保	1 料金改定協議（事業報酬額、退職給与引当金、修繕、改良、委託費） 2 胆沢第三発電所に係る電力受給契約の締結 3 北上大規模太陽光（仮称）に係る電力受給契約の締結 4 電力システム改革に関する情報収集、調査研究	1 東北ブロック協議担当県として料金改定のスケジュールを勘案して、東北電力(株)との交渉を設定 ⇒ 公営電気料金担当課長会議(6/18)及び東北ブロック電気料金担当者会議(7/14～15)における情報収集実施。 2 東北電力(株)との協議 ⇒ 電力需給契約（買電）及び同申合せの締結(4/8)、試運転に係る電力受給契約の締結(4/8)、FIT 特定契約締結(6/30) 3 一般競争入札による固定価格買取制度における特定契約相手先の決定 ⇒ 一般競争に係る FIT 特定契約の事例調査(神奈川県企業庁:5/22～23)、一般競争入札公告(8/1)、入札開札(9/1)、特定契約締結(9/8) 4 情報収集及び調査研究（基本契約・受給契約関係、契約手続き関係、事業影響関係等）⇒ WG 設置(4/17)、WG7 回開催(4月～8月)、閉会中の常任委員会での概要説明(8/5)		
	⑤施設運用と機器の効率化	1 合理的な年間作業停止計画等の策定 2 機器更新に伴う高効率機器の導入検討 3 高効率機器等への更新	1 年間作業停止計画の策定 ⇒ 各保守担当部署及びダム等に対する平成 27・28 年度年間作業停止計画の照会(8/6)。取りまとめ中。 2 高効率機器の導入検討		
	⑥その他	1 未利用資産の活用・処分等 2 効率的な資金運用	1 活用処分方針に基づく計画の実行 ⇒ 旧愛宕荘敷地について、売却に向け、境界確定等の権利調整や測量及び登記等業務を実施。（一部継続） スラップ処分 ⇒ 岩洞第一発電所 入札(8/26)、引渡(9/30) 売却金額 1,813,406 円 仙人発電所 入札(9/24)、引渡(期限)（※10/31 予定） 概算金額 971,887 円 2 適切な現金収支見通し ⇒ 随時、現金収支見通しに基づき適切な資金運用を実施 大口定期預金 ⇒ 運用原資額 58 億円（H25：10 億円）に対して、9/30 時点の利息収入額は、2,649,752 円（前年度同期実績は、745,889 円）		
(2) 支出の適正化	⑦経費の効率的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 2 工事費等の計画的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 ⇒ 事務費の実績額は全ての項目で目標を達成（上半期） 2 工事費等の計画的な執行 ⇒ 委託費：75 件 253,391 千円、改良費：24 件 210,079 千円（上半期）		
	⑧業務の効率化	1 工事の計画的な施行の検討 2 土木施設の長寿命化【再掲】	1 工事の計画的な施行の検討 ⇒ 電気機械関係工事打合せを実施（業務課・事業所 5/15, 20, 21）。北ノ又第二発電所取水口等工事を合冊発注することによる工事費及び業務量の削減。オートムレビューで御所発電所の屋外機器更新工事の発注方法を検討、審議実施(9/17) 2 御所発電所等施設台帳・データベース整備 維持管理計画の見直し等 ⇒ 検討会を開催し H26 検討計画を決定(5/16)、設置要綱の改定(5/30)、WG 会議開催(7/17)、東北電力所有発電所視察実施(9/11)		

【備考】

■四半期毎の状況（上段：目標、下段：実績）

電力料収入（百万円）

	1/4	2/4	小計	3/4	4/4	合計
卸供給	1,181	1,116	2,297	1,052	1,096	4,445
	1,220	1,151	2,371			2,371
附帯事業	21	13	34	26	34	94
	22	10	32			32
計	1,202	1,129	2,331	1,078	1,130	4,539
	1,242	1,161	2,403			2,403

上半期実績 103%

■工事費、委託費の状況（上段：目標、下段：実績）

工事費、委託費実績見込（千円）

	修繕費	改良費	委託費
目標	768,276	1,799,698	377,322
実績			

■四半期毎の状況（上段：目標、下段：実績）

消耗品費等（千円）

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
消耗品費	14,540	29,080	43,620	58,163	58,163
	8,266	19,940			19,940
賃借料	6,944	8,700	10,456	12,215	12,215
	5,837	7,282			7,282
通信運搬費	10,644	21,288	31,932	42,576	42,576
	4,397	11,126			11,126
旅費	4,806	9,612	14,418	19,226	19,226
	3,153	7,767			7,767
雑費	10,343	20,686	31,029	41,375	41,375
	2,206	4,754			4,754

平成 26 年度 電気事業 新規開発の推進 管理・評価集計表（上半期）（3/7）（案）

経営方針		経営目標		取組分野			
I 電気事業 3 新規開発の推進 地域エネルギーの活用や地球環境保全に貢献するため、再生可能エネルギーの導入を推進する。		胆沢第三発電所の建設の推進 水力開発候補地点の選定・可能性検討 高森高原風力発電所（仮称）開発の推進 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進		(1) 新規水力開発 (2) 再生可能エネルギー導入促進等			
取組項目		取組目標等		主な実施状況及び成果・効果等		区分評価	評価
(1) 新規水力開発	⑨ 胆沢第三発電所の建設の推進	1 胆沢第三発電所の建設の推進 2 電力受給契約の締結	1①胆沢ダム・発電所工事連絡調整会議等への出席 ⇒ 連絡調整会議、安全パトロール、工程会議、有水試験打合せ等適宜実施。 ②共同工事の進捗 ⇒ 鉄管充排水点検(4/12、4/14～16、6/20～22)、河川法完了検査(6/19) ③専有設備工事の進捗 ⇒ 無水試験(4/1～4/19)、東北電力系統連系(4/9)、有水試験(6/2～19)、使用前自主検査実施(6/25)、営業運転開始(7/1) ④運転開始後の発電所の運用や保守管理に向けた関係機関との協議及び円滑な運用 ⇒ 胆沢第一・胆沢第三発電所の管理に関する基本協定書締結(6/30)、 2 東北電力(株)との協議 ⇒ FIT 特定契約締結(6/30)				
	⑩ 水力開発地点の調査	1 開発に向けた情報収集及び調査	① 流況把握 ⇒ 流量観測委託の契約締結(4/1) 観測地点：南本内、達曾部、沿岸南部 河川(2 地点) ② 築川地点(開発可能性の調査) ⇒ 基本設計業務契約締結 ③ 有望地点可能性調査 ⇒ 調査地点の現地調査(5/21)、委託業務契約(8/14)、着手時打合せ及び現地踏査立会(8/20)				
(2) 再生可能エネルギー導入促進等	⑪ 高森高原風力発電所（仮称）の開発の推進	1 環境影響調査 2 風況観測調査 3 発電所設計 4 用地交渉等	①猛禽類等調査 ⇒ 渡り鳥調査(10 回)、猛禽類調査(6 回)、その他調査(2 回)実施、猛禽類調査については、第 3 四半期も継続して調査を実施(追加) ②環境影響評価(①除く) ⇒ 景観(5/4、8/3)、哺乳類・両生類・爬虫類・魚類・昆虫類・底生動物・植物・生態系等(5/12～15、6/2～6、7/7、7/15～18、8/4～6)、水質(5/26、8/27)、コウモリ(8/25～29)等実施 ③準備書作成、国等への提出、住民説明会対応等 ④風況観測調査業務 ⑤風力発電システム詳細設計業務 ⇒ 風力発電システム詳細設計業務委託(6/30 契約)、現地測量(7/21～)、発電所造成設計(8/25～)、地質調査(9/15～)実施中 ⑥送電線実施設計業務 ⇒ 送電線実施設計業務委託契約(9/3)、送電線ルート再確認、公図・登記記録等調査実施 ⑦用地交渉等 ⇒ 用地交渉等実施(発電所区域:5/14、6/11 変電所区域:6/11、7/15、8/21)、変電所候補地不動産鑑定評価業務(7/25 契約、9/4 完了)				
	⑫ 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進	1 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進	①補助金関係 ⇒ H25 補助金関係(4/1 確定通知、4/15 精算払請求、5/14 入金)、H26 補助金関係(4/7 交付決定、4/28 採択者説明)、補助事業中間報告(7/15) ②工事関係 ⇒ 事例調査実施(神奈川県企業庁:5/22～23) ③系統連系関係 ⇒ 系統連系承諾手続き(3/12 申込、追加資料提出)、系統連系承諾書送付(東北電力 ⇒ 企業局)(7/9) ④固定価格買取制度による特定契約関係 ⇒ 一般競争入札(8/1)、入札開札(9/1)、特定契約締結(9/8) ⑤設置条例関係 ⇒ 議会提案(6/24)、設置条例改正議案議決(7/7) ⑥その他 ⇒ 事業用地取得手続き(4/25 土地改良区との無償譲渡契約、5/21 同用地の分筆登記完了、5/26 同用地の所有権移転登記完了)				
	⑬ その他の再生可能エネルギーの調査研究	1 新たな事業展開に向けた情報収集	①情報収集の継続 ⇒ 環境生活企画室との情報交換実施(4/21、9/24) ②各種会議等への参画 ⇒ 木質バイオマスエネルギー利用促進 WG 出席(9/24)				
【備考】							
		胆沢第三発電所	相去太陽光発電所	高森高原風力発電所（仮称）			
形式		ダム式	—	—			
最大出力		1,500kW	1,009kW	25,300kW			
所在地		奥州市	北上市	一戸町			
総事業費		約 22 億円	約 5.6 億円	約 115 億円			
工期		H23～H26	H25～H26	H27～H29			
運転開始		H26.7.1	—	—			

平成 26 年度 工業用水道事業 信頼性の確保 管理・評価集計表（上半期）（4/7）（案）

経営方針	経営目標	取組分野																		
II 工業用水道事業 1 信頼性の確保 施設の適切な維持管理のもと、良質な工業用水の安定供給に努める。	基本料金算定水量 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>14,012 千 m³</td></tr> <tr><td>実績</td><td>千 m³</td></tr> <tr><td>達成率^{※1}</td><td>%</td></tr> </table> ※達成率 ^{※1} = 実績 ÷ 目標 × 100 耐震化率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>51 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> </table>	目標	14,012 千 m ³	実績	千 m ³	達成率 ^{※1}	%	目標	51 %	実績	%	(1) 安定供給に向けた取組 【指標】 供給停止件数 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>0 件</td></tr> <tr><td>実績</td><td>3^{※1} 件</td></tr> </table> ※ 過去平均：H22～24 の 3 カ年平均 0.3 件/年 ※ 1 定期点検による供給停止 【指標】 供給停止時間 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>0 時間</td></tr> <tr><td>実績</td><td>15^{※2} 時間</td></tr> </table> ※過去平均：H22～24 の 3 カ年平均 0.7 時間/年 ※ 2 定期点検による供給停止	目標	0 件	実績	3 ^{※1} 件	目標	0 時間	実績	15 ^{※2} 時間
目標	14,012 千 m ³																			
実績	千 m ³																			
達成率 ^{※1}	%																			
目標	51 %																			
実績	%																			
目標	0 件																			
実績	3 ^{※1} 件																			
目標	0 時間																			
実績	15 ^{※2} 時間																			

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価	
(1) 安定供給に向けた取組み	① 安全で適切な作業等の実施	1 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施 2 作業の準備、作業及び改善等 3 事故事例等の活用	① 職場研修の実施（OJT の充実等）【再掲】⇒ 新採用職員及び新任職員に対する実務指導及び研修等の実施。 ② 職場外研修の実施 ⇒ 特定化学物質作業主任者講習（7/10, 11）。ワルーフ コントローラー技術講習（9/8～10）。 ③ 作業前のツールボックスミーティング・危険予知の徹底 ⇒ 各種直管作業で TBM/KY を実施。 ④ 問題点の抽出及び改善の実施 ⇒ 来年度の作業に向け、作業反省会での指摘・提案に基づく操作手順書の修正及び作業の効率アップ改善を図ることとした。 事故事例の収集と活用 ⇒ 事故事例を収集中。		
	② 計画的な更新、改良、修繕工事等の実施	1 工程管理 2 修繕・改良計画の策定及び検証（10 か年計画） 3 配管更新（耐震化）の推進と各施設更新・改良・修繕工事（工程管理）	① 北上ろ過高圧受電盤等更新工事（H25～H26）⇒ 現地工事中（各盤据付、切替作業）。 ② 金ヶ崎ろ過（第一期）シキリ盤等改修工事 ⇒ 工事契約（5/26）、機器工場製作中。 ③ 第二工水沈砂池コンクリート躯体補修工事 ⇒ 工事契約（9/1）。 10 か年計画の見直し ⇒ 計画策定（9/29）。 ④ 第一工水（北上工水）配水管更新工事 ⇒ 工事契約（5/12）、現地工事開始（9/19）。更新範囲拡大（北上ろ過導水管）による耐震化率の向上（国の補助対象事業承認）。 ⑤ 第二工水送水管更新工事 ⇒ 工事契約（5/12）、試掘調査実施（6/30～7/1, 9/9）。 ⑥ 第二工水送水管更新の詳細設計 ⇒ 道路横断部工法に係る道路管理者との協議（8/21）。		
	③ 維持管理要領の随時見直し	1 維持管理要領の随時見直し	維持管理要領及び関連マニュアル等の見直し ⇒ 岩手山火山活動に伴う防災行動計画（県営工業用水道）の見直し検討中。		
	④ 関係機関との連携	1 河川への油流出防止活動 2 ユーザー等への情報提供	① フェン配布等による広報・啓発活動⇒施設見学会（7/26）、盛岡駅前復興応援イベント（8/31）、スカイェスタ 2014（9/23）で油流失事故防止の啓発活動を実施（チラシ、ポスターの配布）。 ② 水質汚濁対策連絡協議会による活動 ⇒ 水質汚濁対策連絡協議会（6/12）。 ③ 水質事故の情報提供 ⇒ 岩手河川国道事務所からの情報提供件数 18 件（うち、ユーザーに対する情報提供件数 4 件）。担当職員不在時の情報提供方法を改善。 ④ 原発放射線影響対策にかかる定期的な測定とその公表 ⇒ 空間線量率測定（4/11, 23, 6/4）、脱水汚泥の放射性物質濃度測定（4/11, 14, 6/5）、ホームページ掲載（6/12）。 ⑤ 工業用水道事業に係る広報・宣伝活動 ⇒ 水質・放射能測定データのホームページ掲載。		

【備考】

■ 四半期毎の状況

基本料金算定水量（千 m³）

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
目標	3,497	3,536	3,530	3,450	14,012
実績	3,497	3,536			7,033

実給水量（千 m³）

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
見込み	1,810	1,829	1,824	1,782	7,245
実績	1,850	1,978			3,828

※目標及び見込みは年間給水量見込みを日数割り

■ 供給支障件数の過去平均と原因別比較

区分	H22～24 平均	H25	H26	H27
人的ミス等	0.3	0		
設備不良等	0	1		
自然現象等	0	0		

月/日 施設名 事故名称 原因分類

■ 供給停止状況

	事故停止		作業停止		供給停止水量 (m ³)
	件数 (件)	時間 (時間)	件数 (件)	時間 (時間)	
1/4	0	0	2	11	2,393
2/4	0	0	1	4	1,333
3/4					
4/4					
合計	0	0	3	15	3,726

平成 26 年度 工業用水道事業 経済性の確保 管理・評価集計表（上半期）（5/7）（案）

経営方針	経営目標	取組分野																						
II 工業用水道事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、経営基盤の強化・自立経営を図る。	経常収支比率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>101 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table> 累積欠損金 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>37 百万円以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>百万円</td></tr> </table>	目標	101 %	実績	%	達成度		目標	37 百万円以下	実績	百万円	(1) 収入の確保 【参考指標】 収入額 <table border="1"> <tr><td>計画</td><td>890 百万円</td></tr> <tr><td>実績</td><td>万円</td></tr> <tr><td>達成率^{*1}</td><td>%</td></tr> </table> ※達成率 ^{*1} = 実績 ÷ 計画 × 100 (2) 支出の適正化 【参考指標】 支出額 <table border="1"> <tr><td>計画</td><td>878 百万円</td></tr> <tr><td>実績</td><td>万円</td></tr> <tr><td>達成率^{*2}</td><td>%</td></tr> </table> ※達成率 ^{*2} = (計画 - 実績) ÷ 計画 × 100 + 100 (3) 自立経営への取組み	計画	890 百万円	実績	万円	達成率 ^{*1}	%	計画	878 百万円	実績	万円	達成率 ^{*2}	%
目標	101 %																							
実績	%																							
達成度																								
目標	37 百万円以下																							
実績	百万円																							
計画	890 百万円																							
実績	万円																							
達成率 ^{*1}	%																							
計画	878 百万円																							
実績	万円																							
達成率 ^{*2}	%																							

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価
(1) 収入の確保	⑤ 契約水量の増量	1 企業誘致等に関する情報収集活動 関係機関との情報交換 ⇒ 知事部局関係者による施設等視察会開催 (5/9)。金ヶ崎町 (5/2)、北上市 (5/12、9/3、5)、企業立地推進課 (9/26) との情報交換。企業ネットワークいわて 2014in 東京への出席 (7/30)。 2 既存ユーザーに関する情報収集活動 ユーザーへの適時適切な増量の働きかけ ⇒ 全 18 ユーザー訪問による生産状況等の確認 (4/15、16、17、22、5/7)。 3 新たな工場立地への対応 新たな工場立地の動向に応じた協議⇒第一工水給水区域変更に係る東北経済産業局との協議 (9/16)。		
	⑥ その他（未利用資産の処分等）	1 未利用資産の活用・処分等 ①活用処分方針に基づく計画の実行⇒旧大堤公舎跡地は昨年度に引続き、新聞広告や現地説明会を実施しながら入札を実施 (7/30) したが、買受希望者が無く先着順売却を実施中 (8/4~10/31)。今後、分割による売却を行う方針。 ②スクラップ処分⇒H26 年度は処分予定なし。 2 効果的な資金運用 ①適切な現金収支見直し ⇒ 随時、現金収支見直しに基づき適切な資金運用を実施。 ②大口定期預金 ⇒ 運用原資 7 億円 (H25 : 9.5 億円) に対して、9/30 時点の利息収入額は 298,315 円 (前年度同期実績は 484,074 円)。		
	⑦ 経費の効率的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 消耗品費等 ⇒ 事務費の実績額は、全ての費目で目標額を達成。 2 工事費の計画的な執行 工事費の計画的な執行 ⇒ 委託費 21 件 (134,681 千円)、改良費 3 件 (37,837 千円) を契約済み。		
(2) 支出の適正化	⑧ 業務の効率化	1 委託の点検・見直し 岩手県工業用水道事業業務委託の共有財産の整理 ⇒ 企業団と共有財産の整理に係る作業部会を開催 (7/22、8/29)。9 月から業務委託の進捗状況報告を開始。 2 工事の計画的な施行の検討 工事施行の見直し等 ⇒ 第二工水水位計更新工事は 2 件の工事を合冊発注し契約 (6/27)。第三工水取水口ホストレル塗装工事は 4 件の工事を合冊発注する予定。		
	⑨ その他	1 借換制度の拡大の国への要望継続 全国公営企業連絡会等を通じた国への要望 ⇒ 企業債の繰上償還制度復活及び恒久化と併せて、対象金利の引下げ等の制度拡充に係る要望書を提出 (7/15)。		
(3) 自立経営への取組み	⑩ 入畑ダム水源転用	1 手続き等の進行管理 財産譲渡・入畑ダム堰堤改良工事対応 ⇒ 河川課 (5/15、9/26) 及び和賀中部事業所 (7/23) との事業計画変更に係る協議。 2 国庫補助金返還の手続き 入畑ダム堰堤改良事業にかかる既設財産の処分 ⇒ 財産処分承認申請 (4/14)、財産処分承認及び国庫納付額通知 (4/28)、国庫補助金返還 (5/16)。		

【備考】

■ 四半期毎の状況（上段：目標、下段：実績）

	収入 (百万円)				計
	1/4	2/4	3/4	4/4	
目標	222	224	224	219	890
実績	227	228			455

※目標は年間の収入見込みを日数割りしたもの

■ 工事費の状況（上段：目標、下段：実績）

	工事費 (千円)	
	修繕費	改良費
目標	73,734	215,290
実績		

消耗品費等 (千円)

	消耗品費等 (千円)				計
	1/4	2/4	3/4	4/4	
消耗品費	1,131	2,262	3,393	4,524	4,524
賃借料	77	154	231	308	308
通信運搬費	585	1,170	1,755	2,343	2,343
旅費	1,015	2,030	3,045	4,060	4,060
雑費	412	824	1,236	1,650	1,650
	134	305			305

平成 26 年度 地域貢献の推進 管理・評価集計表（上半期）（6/7）（案）

経営方針		経営目標		取組分野					
Ⅲ地域貢献の推進 地域における新エネルギーの導入促進や環境保全活動との協働等を通じて、地域社会への貢献に努める。		支援対象者等による評価 80% 以上 年 1% ずつの温室効果ガス排出量の削減 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>目標</td> <td>2,259t 以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>t</td> </tr> </table>		目標	2,259t 以下	実績	t	(1) クリーンエネルギー導入促進等 (2) 環境保全活動等への取組み (3) 情報公開・P R	
目標	2,259t 以下								
実績	t								
取組項目		取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等		区分評価	評価			
(1) 促進等 クリーンエネルギー導入	① クリーンエネルギーの導入支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、導入事例集の作成	1 クリーンエネルギーの導入支援（支援事業、技術支援） ⇒ 1 次募集（4/14～6/13）実施により、申請・交付決定 1 件（洋野町） 2 次募集（7/28～12/26）実施 ⇒ 事業内容検討のための市町村向けアンケート実施（9/19～） 2 一般会計への繰出しによるクリーンエネルギーの導入事業への支援 ※本事業を含む今後の地域貢献のあり方に関する検討を開始。						
	② 関係機関との連携	イベント等の情報収集を行い、普及啓発活動を実施	1 普及啓発活動の推進（他部局との連携、主催イベント等への参画） ⇒ イベント等への参画 四十四田ダムさくらまつり（4/29）、オオヤマザクラまつり（5/11）、復興応援！盛岡駅前ご当地キャラまつり（8/31）、さんさ踊り（8/1）、いわて花巻空港スカイフェスタ 2014（9/23） ⇒ 企業局パネル展示 二戸地区合同庁舎（8/12～9/1）、湯田ダム 50 周年記念事業（9/20～21）						
(2) 取組み 環境保全活動等への	③ 植樹活動支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、職員参加数 95 名程度	1 植樹・育樹用苗木等提供及び植樹・育樹活動への参加 ⇒ 14 地区の支援を決定、9 地区で実施済み。うち 5 地区に 63 名の職員が参加。 2 その他の地域貢献活動への取組み ⇒ 企業局 P R 隊の結成（7/1）、湯田ダム 50 周年記念事業でのグッズ提供						
	④ 環境保全（地球温暖化対策）への取組み等	1 リーフレット時点修正及びのイベント等での活用 2 温室効果ガス年 1% 削減	1 リーフレット時点修正及びイベント等での活用 ⇒ 施設見学会の参加者 155 名に環境保全情報発信用リーフレットを配布 2 温室効果ガス削減啓発活動 ⇒ 局の取組方針を局内に通知 定期的に取組状況を掲示板等で周知し取組みを推進 8 月から毎月第一水曜日をライトダウンの日として設定						
(3) 情報公開・P R	⑤ ホームページの充実	速やかな情報掲載、内容の充実 外部アクセス数 20,217 件/年（H25 実績）	1 掲載情報の随時更新 ⇒ 更新回数 114 回（9 月末現在）。 ホームページのアクセス状況：「入札・契約情報」6,401 件、「電子入札システム条件付一般競争入札発注予定」4,846 件、「企業局（トップページ）」3,696 件 2 掲載内容の充実						
	⑥ 県民とのコミュニケーション活動	1 参加者理解度 80% 以上 2,3 共同事業者における企業局施設及び運用等の理解を促す。	1 施設見学会及びエネルギー教室の開催 ⇒ 7/26 に全 5 コース（新設の胆沢コース含む）で開催 参加者 155 名 2 随時や他部局等イベントにあわせた見学者の受入れ ⇒ 4 月から 9 月に 1,137 名の見学者を受入れ 3 共同事業者への施設案内等 ⇒ 胆沢平野土地改良区による胆沢第三発電所等見学会（7/7）に係る対応調整						

【備考】

■支援対象者等による評価

調査実施事業	支援対象者評価 (回答数)	施設利用者等評価 (回答数)	平均	評価
①-1 クリーンエネルギー導入支援事業等	% ()	% ()		
③植樹活動支援事業	% ()	% ()		
⑥施設見学会	% ()	% ()		

※数値は集計中の速報値
 ※支援対象者評価は満足度、施設利用者等評価は有益度を調査
 ※評価に応じて加重平均したもの
 ※ () 内は有効回答数

■見学受入れにおける発電所見学者数（人）

H19～22 平均	H23	H24	H25	H26
1,400	1,149	1,353	1,545	

平成 26 年度 組織力の向上 管理・評価集計表（上半期）（7/7）（案）

経営方針		経営目標		取組分野	
IV 組織力の向上 事業運営の基盤となる組織力を更に向上させるため、技術の継承と人材の育成・確保に努める。				(1) 労働安全対策の充実 (2) 組織力の向上 (3) 組織運営の充実 (4) 人材育成の充実	
取組項目		取組目標等		主な実施状況及び成果・効果等	
				区分評価	評価
(1) 労働安全対策の充実	① 安全保安会議等の実施	1 安全保安会議の実施 2 安全パトロールの実施 3 労働災害無事故への取組み	① 安全保安会議の開催 ⇒ 第 1 回安全保安会議開催 (9/12)。安全保安準備期間、安全保安月間における取組の報告、夏季安全パトロールの実施結果の報告、電気主任技術者による保安パトロールの報告、冬季安全パトロールの実施について協議等を実施。 ②③ 夏季・冬季 安全パトロールの実施 ⇒ 夏季安全パトロールを実施 (7/14～25 のうち 10 日間)。指摘事項は 0 件 (注意事項 15 件)。 ④ 労働災害無事故表彰の実施 ⇒ 施設総合管理所が 4 月 24 日で労働災害無事故 1 年達成したことにより、労働災害無事故達成に係る賞状の交付 (5/14) ⑤ 労働災害ゼロへの取組み ⇒ ポスター掲示による啓発 (本局、各事業所) 及び各事業所内スローガンの募集及び優秀作品の選出実施 (6 月及び 7 月)		
	見直しへの対応	② 新会計基準への対応	新会計基準への対応	1 移行貸借対照表の作成 ⇒ 移行貸借対照表は作成完了 (5/22)。各種研修会参加により情報収集実施。(新地方公営企業会計制度における平成 26 年度決算の作成と消費税研修 (8/18～19)、新公営企業会計基準移行初年度のポイントと経営戦略 (9/3)、地方公営企業における会計・経理事務 (9/4～5)) 2 平成 26 年度決算作成検討 ⇒ 第 3 四半期から着手予定。	
(3) 組織運営の充実	③ 組織機能の強化	1 局内連携の一層の推進 2 事業継続に必要な組織体制の構築	① 本局主任主査会議による情報共有 ⇒ 毎月開催し、情報共有実施 (4/18、5/13、6/6、7/11、8/7、9/5) ② 総務担当者会議等による情報共有 ⇒ 総務担当者会議を 2 回開催し、各種取組報告、情報共有等実施 (4/22、8/29) ③ 事業運営に必要な職員の採用 ⇒ III 種電気職採用募集説明会を 4 箇所において実施 (4 月～6 月、県内工業高校等)。I 種及び III 種試験実施。 ④ 定数・組織調整及び適正な人員配置 ⇒ 組織定数の協議について、各所属に通知 (9/16) ⑤ 事業運営に必要な有資格者の確保		
		④ 経営品質向上 (セルフアセスメント等)	1 セルフアセスメント (自分たちの活動の自己評価) の実施等 2 職員満足度の向上	① セルフアセスメント (自分たちの活動の自己評価) ⇒ 局及び各所属の業務方針を策定 (4 月) 組織運営課題への取組み状況について、拡大課長会議で情報共有 (8/4) ② 満足度調査結果等を基に事業実施 ⇒ 局長等との意見交換会を 6 回開催し、職員の要望等確認 (5 月～6 月)。意見交換会結果及び対応の公表 (9/1)。職場環境改善の一環として本局事務机を更新 (6/28) 若手・女性職員及び新採用職員との意見交換会の第三四半期実施に向けた検討実施。企業局全体厚生福利事業に係るアンケートの実施 (9 月)。	
(4) 人材育成の充実	⑤ 技術継承・人材育成	1 専門研修体系の継続的な見直し 2 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施	① 専門研修体系実施要領及びカリキュラムの継続的な見直し実施 ⇒ 専門研修体系検討委員会を開催し、今年度の各所属における OJT や職場研修の計画を策定 (5/27) ② 職場研修の実施 ⇒ 新採用職員及び定期人事異動により企業局に初めて勤務する職員を対象とした新任職員研修を実施 (4/23、4/25、5/8、5/9)、など、随時研修手続きを進め、各種研修を実施。 ③ 職場外研修の実施 ⇒ 電気主任技術者試験取得に向けた準備講習 (6/3～5)		
【備考】					

岩手県企業局経営評価委員会設置要領

(制定 平成16年7月)

(趣旨)

第1条 岩手県企業局の経営計画や経営改革の進捗状況を局外から客観的に評価・検証するため、岩手県企業局経営評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

(1) 岩手県企業局中期経営計画の評価に関すること。

(2) その他経営計画や経営改革の推進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5名をもって組織する。

2 委員は、岩手県企業局の事業に関して優れた見識を有する者のうちから企業局長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会には委員長を置き、委員長は委員の互選とする。

2 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

3 委員長が不在のときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、これを主宰する。

2 委員長は、必要があると認められるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務局)

第6条 委員会の庶務は、岩手県企業局経営総務室において処理する。

(その他)

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成16年7月26日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年7月3日から施行する。